

運転免許のテスト

校 長 武井 正明

今日から第2テスト。初日の出来は、どうかな？

テストというと、ホロ苦い思い出がいろいろありますが、なかでもダメだったのが運転免許のテストです。あれは結構恥ずかしかったな。

私が運転免許を取ったのは大学2年の11月。自動車学校は新潟市青山でした。

午前の教習が終わると昼休み、教習場のコースは、ソフトボール場になります。

「若いあんちゃん」と呼ばれていた私は、職員の人たちとソフトボールに興じていました。終わるとコーヒー牛乳を奢ってもらうのです。ちょっと大人の中に入れてもらって、楽しかった。これが午後の教習になると一変して「右目視!!」厳しい言葉が飛ぶ。

そんな調子だから、補習が12時間もつきました。

仮免許も経て、なんとか卒業すると、今度は黒埼免許センターで本試験です。

たまたま、ある男子高校生と一緒にになりました。

「大丈夫かなあ…」彼は心配でたまりません。「大丈夫だって。こんなの○か×かの二択でしょ。落ちるわけないって」と、私は先輩風を吹かせて彼を励ましていました。

そして試験です。答案を後ろの人に渡す時、後ろに座っていた年配の女性が、いきなり私に「カンニングダメっ!!」と大きな声で私を睨みつけました。

は？オレ、カンニングなんかしてないのに…。あの人、カンニングしようとしたんだ…周囲の冷たい視線を浴びながら、何ともモヤモヤした気分…。

それが原因かはわかりません。

当時の合格発表は、試験直後、1番から順々にランプが点灯していく方式でした。

当然、自分の番号も点灯するものだとはナから疑っていません。

しかし…

何と無情にも、私の直前までリズムカルに総て点いていたランプが、いきなり私の番号と次の番号をすっ飛ばしていきました。一瞬でした。まさにコントのオチ…。

あっ、落ちた…。気付くと、あの高校生の姿はありませんでした。

アイツ、気い利かせやがったな…。

ふと見ると、さっきのおばちゃんと目が合って「落ちた人たちってどうすればいいんかねえ、あんたどうする？」と「同じ側の人」として話しかけられちゃいました。

「あっ、こっちっスよ」ついつい再試験に必要な書類を、ふたりで並んで受け取っていました。こういうのを「昨日の敵は今日の友」と言います。

さすがに帰りはショックで、黒埼から自宅の寺尾まで結構長い距離を、歩いて帰った記憶があります。皆さん、明日もうひと踏ん張り、油断禁物、とにかく頑張れ一っ!!